

津山ふぁみ・さぽ三二通信

NO.65 2020/11月

新型コロナウイルス感染症が世界中に感染拡大し、私たちの生活は大きく様変わりしました。当初、学校などが休校になったことで、中には、支援が必要な依頼会員もおられましたが、ファミ・サポの利用は予想以上に減少していきました。提供会員さんからは、「困っている会員のサポートをするよ」との声もいただき、両者の思いを尊重した上で通常の活動を続けることができました。不安な中にもこの感染症のことが徐々にわかり「新しい生活様式」を取り入れた日常生活の習慣ができました。

ファミ・サポでも、3月から延期していたサポート講習会を9月に開催し、それを皮切りに対策を取りながら講習会を開催しています。

この経験したことのない難局を医療、福祉、教育などの現場で働く方々、その他の職種の方々、また、ファミ・サポ会員の皆さんとも力を合わせて乗り越えたいと強く思います。

鏡野町の提供会員研修・交流会開催報告

8月29日、鏡野町中央公民館で初めての研修・交流会を行いました。津山からは、サブ・リーダーの皆さんに参加していただきました。

研修では、講師に日本ボイスマネジメント協会代表の高橋れいさん（写真下）をお迎えして、マスクでも、オンラインでも、好印象になる話し方を学びました。

その後の交流会では、グループに分かれて話し合いを行いました。

鏡野町の方が、ファミ・サポを利用できるようになって1年4ヶ月。鏡野町にもサブ・リーダー（「会員のページ」のコーナーで紹介）が1名誕生し、町の担当者と連携して活動しています。

なお、ファミ・サポについてのお問合せは下の番号へ。

鏡野町役場 保健福祉課 子育て支援係
TEL:0868-54-2986



参加者の感想

今年はマスクをつける機会が多くて、表現がしにくかったり、相手の言葉をうまく聞き取れなかったりして困っていた。

うなずくことやまゆげを動かしたらいいと知ってとても勉強になった。今までまゆげを意識したことがなかったのでこれからは、意識して発信しようと思った。

津山の先輩方のお話が聞けて、気持ちが楽になった。

利用した体験者が増えて知名度が高まるといいなと思う。

いろいろな立場の方が参加されていて、それぞれに思いを行動にして活動されている姿に刺激を受けた。

ファミ・サポ会員として気負わず続けたいと思った。

講習会の報告

子育てサポート講習会 「支援の必要な子どもの理解と関わり方」 9月14日

ヒトの多様性つまり、感覚の違い、感じ方の違い、行動の違い、得意なこと、苦手なことなどその他色々な違いがあるということを理解した上で、発達の個人差と特性について学びました。そして、対人関係が苦手であったり、こだわりやすさがあったり、感覚の偏り、運動の不器用さ等、その人の特性にばらつきがあると再認識しました。

社会生活に大きな困難がある状態が障害であり、生活しやすくするための特別な配慮、つまり、特性に合わせた、力を発揮しやすい環境作りをしていくことが支援だと理解できました。

(以下、内容のままと紹介)

最後に身近な支援者として知ってほしいこととして

- ・子どもや保護者の味方になって
 - ・ねぎらいや、相手の考え・感じ方を尊重する
 - ・ほどよいお節介(押し売りは逆効果)
 - ・日常の中の上手くいっていることを探すなど
- 解決思考アプローチとして
- ・上手くいっているなら変えようとするな
 - ・上手くいっただけなら、もう一度それをくりかえせ
 - ・上手いかなかったら、何か違うことをせよ

と、今回の講習会では、支援の必要の人(子ども)への向き合い方や、関わるための理解の仕方を学びました。



講師：山村亮祐さん
(市療育センター主任
臨床心理士・公認心理師)

感想

- ・特性、障害について改めて理解を深めることができました。子どもの良いところ、できるところに目を向けて認めてあげられると良いと思いました。
- ・生活しづらさを感じたら、見方を変えることによって、困っていることを解決するきっかけになることを学びました。



子育てサポート講習会 「子どもの事故予防と救急法」 10月12日



「事故予防」 講師：村上奈美佳さん(健康増進課保健師)
事故のために受診した保護者から聞く言葉として紹介されたのは
「ちょっと目を離した隙に・・・」
「出かけようとバタバタしていたら・・・」
「まだ動けないはずなのに・・・」 などでした。

子どもは発達と共に色々なことが出来るようになる一方、さまざまな事故に遭う恐れがあります。そのため、危険を知って予防することが必要とお話でした。さらに、具体的に乳幼児に起こりやすい事故の例とその対策法を学びました。



「救急法」 講師：津山圏域消防組合救急救命士
コロナ禍の中での心肺蘇生法を学びました。人工呼吸は行わず、胸骨圧迫とAEDを使用して救助するとのことで、成人だけでなく乳幼児の人形も使い、ひとりひとり実技の指導を受けました。参加者の皆さんは質問も交えながら熱心に受講されました。

感想

- ・子どもの事故は、周りの大人が、事故が起きる前に予測して気をつけることが大切だと思いました。
 - ・他の参加者の実際の経験が聞けたのが大変良かったです。
 - ・年1回の講習なので、忘れていたことも多く、改めて学習することができてとても有益でした。
- 他



事故予防・救急法の講座は毎年開催しています
提供・両方会員の皆さんは5年に1回は必ず受けてくださいね





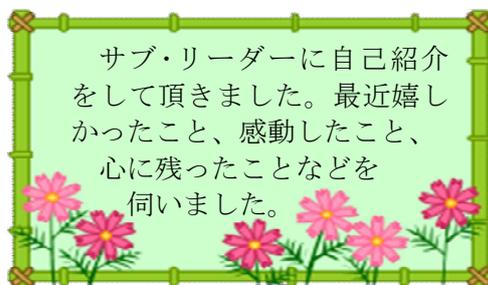
サブ・リーダー紹介

★ 鏡野町のサブ・リーダー ★
松本晴恵さん（鏡野町沢田）

21才の社会人と18才の専門学校生の母親です。自分の子育て中には無かったファミ・サポが鏡野町でも利用できてとてもうれしく、関わらせていただいています。

私はおいしいものが大好きで、野草、薬草などに興味があります。よろしくお祈りします。

先日、提供会員と依頼会員の「顔合わせ」に立ち会ったら、その後、依頼会員さん親子が我が家に立ち寄ってくれました。その方は、私がサポートをしている会員さんで、送迎のサポートではあまりお話しすることがなかったのですが、子どもさんと一緒にメダカを見たり、いろいろお話ができて嬉しかったです。



小林喜代子さん（二宮）

夫も提供会員で、協力して活動しています。

最近スマホに替えたらラインにメッセージがいくつか入っていました。「私、覚えてる？」と入ったラインは、以前児童クラブで、その子が1年生（6才）の時に会った女の子、現在は21才の看護学生からのものでした。とても懐かしくうれしかったです。

よろしく！

間庭早苗さん（田町）

子どもは2男2女。失敗ばかりの子育てでしたが、子どもたちはそれにもめげず立派に育ちました。現在は夫と長男との同居で、遠方に1才になった孫が1人います。

以前、清水の舞台から飛び降りたつもりで購入していた圧力鍋を使った料理に、この機会にと挑戦。豚の角煮に牛すじの煮物、ヘルシーな蒸し野菜など、調理がすごく簡単で最高の舌触り♡
超感動ものです。



四木美代子さん（志戸部）

ファミ・サポの提供会員になって7年。何かしらお手伝いになっていたら嬉しいです。

今年1月、私たち夫婦と子どもたち3家族の総勢14人で、南紀白浜へパンダを見に行きました。

今のこんな生活から考えると、賑やかで楽しい旅行が不思議なぐらいです。孫たちとの楽しい思い出になりました。

岸本芳郎さん（上河原）

サブ・リーダーの中で唯一男性です。妻も提供会員で、一緒に活動しています。

嬉しかったことは、小学生のときにサポートした子が高校生になり、久しぶりに会ったら、覚えてくれていてあいさつしてくれたことです。

土居敦子さん（国分寺）

入会して20年、サブリーダーになって18年になります。

今年、長女が20才、二女が高校1年生です。長女が成人式なので、振り袖を着て前撮りをしました。二女は私の振り袖、私もお気に入りの着物を着付けてもらい（夫はいつものスーツ）、初秋の青空の下、城東むかし町で家族そろっていい写真がたくさん撮れました。

1ヶ月後、写真集ができあがってきたのですが、満足そうな顔が赤ちゃんの時と同じ顔です（笑）

香山景子さん（河面）

小学校6年の息子と、小学校2年の娘がいます。夫も会員です。

先日の小学校の運動会では、子どもたちの応援合戦で団長として大きな声で頑張っている姿や一生懸命ダンスをしている姿を見て成長を感じ、感動しました。

①昨年7月に鏡野町、今年4月からは久米南町、美咲町の方もファミ・サポを利用できるようになったのよね。

②協力し合って子育て支援をしていきたいわね。
それにしても、コロナ禍の下でのサポートにも会員の皆さんがご協力くださり、ありがたいことね。

③「新しい生活様式」が始まり、手洗い、うがいはもちろんのこと、皆さんが手指の消毒、検温などできる対策に努めてくださっているわ。



⑥最後に大切なお知らせです！
新型コロナウイルス感染症については活動に関わる場合、「お見舞金制度」が適用されますが、皆さん、十分気をつけてお過ごしくださいわね。

⑤発熱していたり、咳が出たりして体調に不安がある時には、活動を控えてもらっているのよね。
皆さん、ご協力ありがとうございます！

④センターでも入会時や顔合わせ、講習会に参加のため来所の時には、マスクの着用、手指の消毒、咳エチケットの協力をお願いしているのよね。

延期・中止になる場合もあります。

講習会・交流会の予定

★体験講座と交流会（さん・さんと共催）

コミュニケーションのボイスマネジメント体験講座
「マスク姿でも好印象！」

日時：令和3年1月13日（水）
13:30～15:00

（体験講座）講師：高橋 れいさん
（日本ボイスマネジメント協会代表）
内容：マスク姿でも好印象の話し方や
声の出し方を学ぶ

（交流会）輪になっておしゃべり



★子育てサポート講習会

「子どもの栄養と食生活」

日時：令和3年1月20日（水）
10:30～12:00

講師：湯浅 貴恵さん

市健康増進課栄養士

内容：子ども発育に必要な栄養と食事おやつとの与え方について



*クリスマス交流会は、
コロナ感染症拡大防止のため行いません

《お問合せ》

津山ファミリー・サポート・センター

TEL:0868-31-8753

〒708-8520 津山市新魚町17番地 アルネ・津山5階「さん・さん」内

■開館時間 月・水～金 10:00～19:00 土・日 10:00～18:00

■休館日 毎週火曜日・祝日・年末年始

会員数 1,040人（依頼会員：524人 提供会員：474人 両方会員：42人）令和2年10月31日現在